

成城学校避難所 運営管理協議会 並びに成城避難所女子会

東京で輝く、
自分らしく。



成城避難所マップの叩き台とする
住民参加型避難所シミュレーション演習
(災害対策について「伴に」考える研究会 第23回定例会)

【設立】成城学校避難所運営管理協議会 平成8年4月
成城避難所女子会 平成29年4月

【代表者】成城学校避難所運営管理協議会 代表世話人 土屋 勝
成城避難所女子会 会長 里吉 邦子

【会員数】70人

【所在地】新宿区

【事業概要】災害時の避難所開設・運営等のルールを定める成城学校避難所運営管理協議会(以下「協議会」という。)に対し、成城避難所女子会(以下「女子会」という。)は、協議会の連携・独立団体として、女性の目線から、多様社会における災害弱者支援のあり方等を中心とした避難所運営に関する意見を協議会に提案。両者は相補的関係にある。

背景・経緯

- 成城学校が一次避難所に指定されたことを契機に、震災時における自主管理運営体制確立を目的として協議会を設立(平成8年)
- 男子校における女性や乳幼児等の受入れ体制整備に向け、地域の女性の意見を避難所運営に反映するため女子会を設立(平成29年)

私立男子校の避難所運営に女性が参画することにより、地域の防災力強化と地域コミュニティ活性化に貢献

取組内容

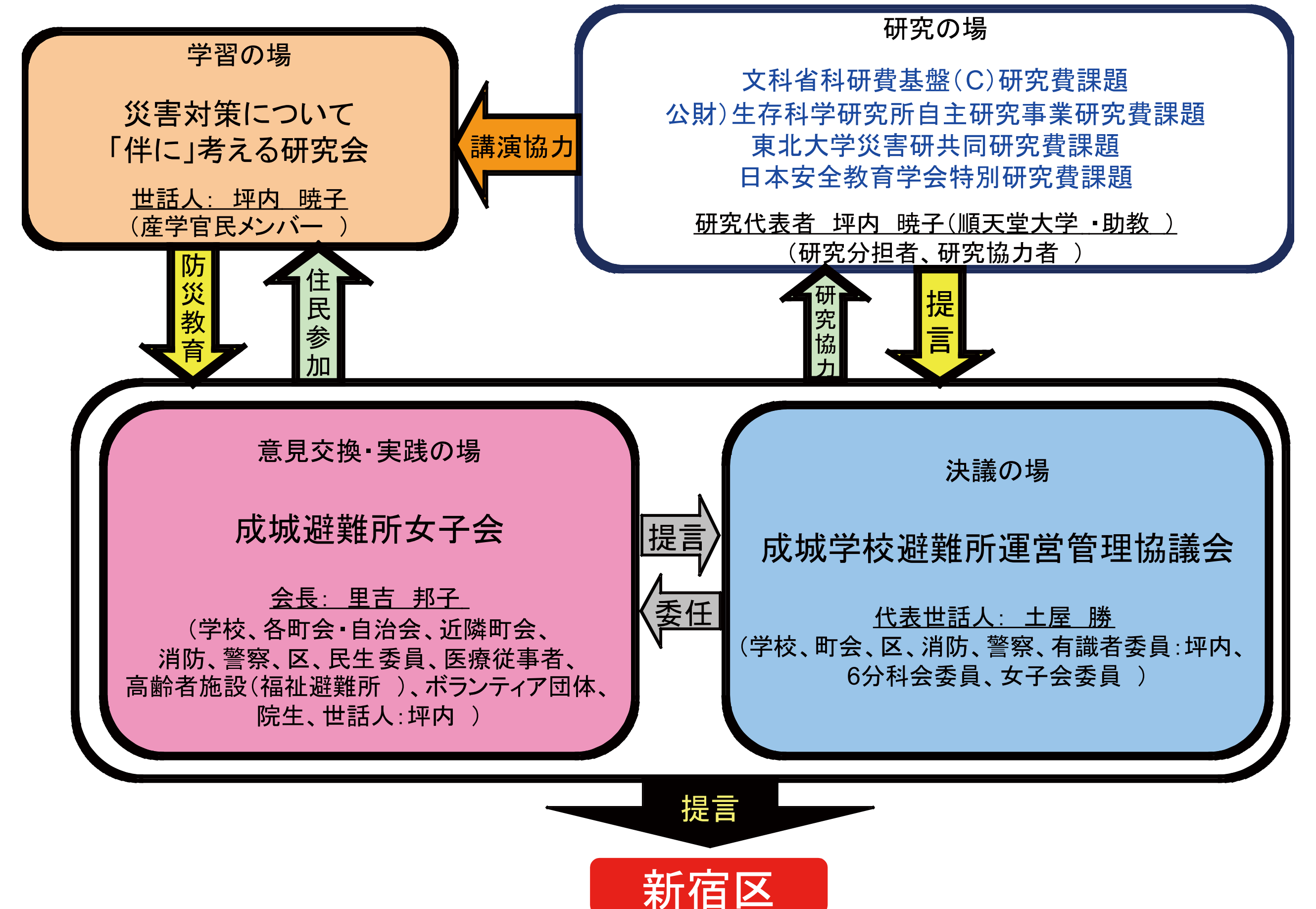
【女性の視点を取り入れた防災対策】

- 全地域住民に地域リスクに関する調査を行い、地域住民のニーズを把握
- 調査結果を踏まえ、女性の意見を協議会に反映させるため、地域の女性を主体に、住民等が気軽に意見を言える場としての女子会を設立
- 6つの分科会による活動
(医療支援チーム、地域包括ケアチーム、地域連携・広報チーム、ペット防災チーム、地域見守り隊、防災イベント企画隊)

【活動を通じた地域の活性化】

- 防災啓発コンクール、防災イベント等の事業実施を通じた地域の繋がり強化
- 成城学校の生徒も協議会・女子会のメンバーとして参画

科学的根拠に基づいた成城学校避難所(新宿区)の取組み



効果・実績

- 女子会の提言による反映事項
防災啓発作品コンクール、生徒によるイベント、6分科会発足等
- 女性の意見が区の災害対策や避難所運営に反映されることで、活動に参加する女性達のモチベーションがアップし、地域の担い手としての自信・主体性を創出
- 協議会参加人数(平成28年度:35名 平成31年度:70名)
女子会参加人数(平成29年度:10名 平成31年度:40名)



平成30年度成城避難所防災訓練での
防災啓発作品コンクール